

都市構造可視化活用の取り組み

～田野地域における交通状況の課題認識～

宮崎県 宮崎市 都市計画課

i-都市交流会議2022

1

1.これまでの活用状況

宮崎市における都市構造可視化の活用状況の把握

- ・宮崎市として本研修及び「i-都市再生交流会議」への参加は初めて。
- ・国等からの情報提供により、可視化サイトの存在は知っていた。
- ・実際に使用したことがあり、宮崎大学地域資源創成学部1年生の講義資料として都市構造可視化サイトを活用。

しかし、使用方法としては、単純な使用方法



本研修を通じて更なる可視化活用の可能性を模索する！

宮崎大学での講義の様子

2. 田野地域の現状

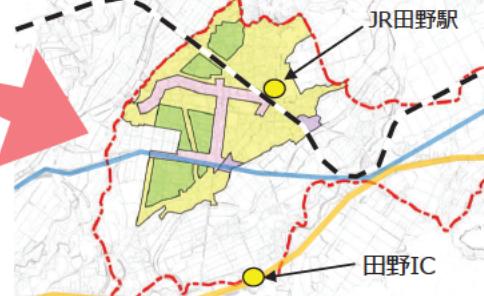
田野地域 とは



人口 : 11,122人 (H31年)
面積 : 10830ha

田野都市計画区域

宮崎広域都市計画区域



- ・宮崎市南西部に位置
- ・旧田野町として、H18年に近隣2町を含め宮崎市へ合併
- ・S44年に都市計画区域を変更【田野都市計画区域（非線引き）】
- ・中心部を鉄道（日豊本線）及び国道（269号）が横断している。
また、南部には宮崎自動車道田野インターチェンジが位置している。

i-都市交流会議2022

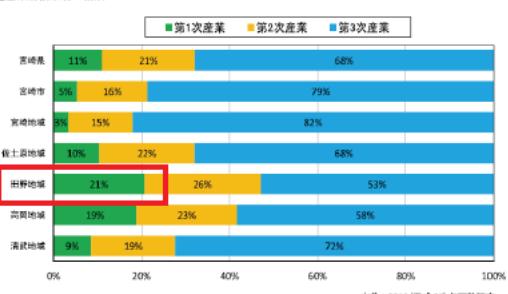
3

3. 田野地域の現状

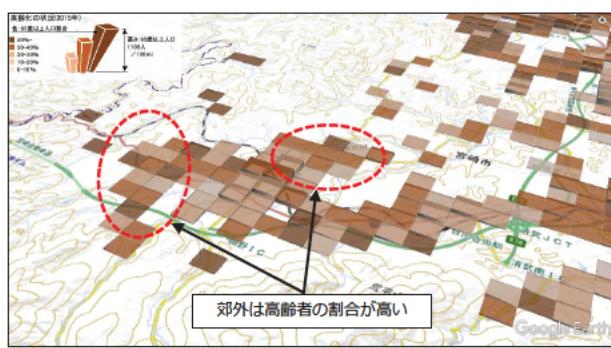
データで見る田野地域

- ・宮崎市の他地域比較して、
第1次産業就業者の割合が最も高い（21%）
- ・特に農業（稻作、葉タバコ栽培、大根栽培及びその加工、畜産）が盛んである。
- ・宮崎市全域と比較して生産年齢人口減少及び老人人口の増加が顕著であり、人口推計によると2030年には人口が1万人を割り込み、高齢化率は34.1%になる。
- ・JR田野駅の1日平均乗車人数が年々減少している。

■産業別就業者の構成



農業就業者は居住と職場（農地）が近接の関係であるが、農業が盛んな田野地域の交通状況はどうなっているのか・・・



補注：都市構造可視化計画、地理院地図を使用

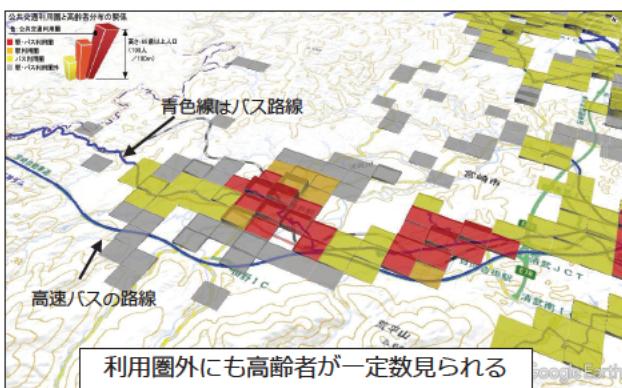
i-都市交流会議2022

4

4. 可視化を用いた課題の認識

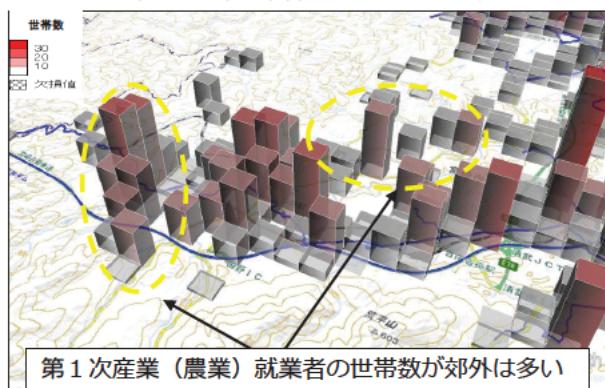
都市構造可視化により現状を可視化

公共交通利用圏内と高齢者分布の関係



国土数値情報よりバス路線データを引用

第1次産業就業者世帯及び混合世帯数



統計GISより国勢調査データを引用

- 公共交通としては路線バス及び鉄道があるが、農業という性質上、郊外に居住する人が相当数見られる。
- コンパクトシティを推進していくながらも、今後の農業を支えていくうえでは、郊外居住者の生活の質（地域交通）は維持するべきである。

i-都市交流会議2022

5

5. 写真

先述した田野地域の課題の認識を図る



都市計画課内にて、可視化サイトを用いて地域の課題を説明

i-都市交流会議2022

6

6.今後の活用方法について

今後の活用方法の検討

【使用してみて】

- ・直観的に内容が把握しやすく、専門的なも内容であっても、説明が容易であった。
- ・多部局にわたる事業や都市マス及び各種計画における検討資料や説明資料として活用できるのできないか。
- ・まちづくりにおいて、地域住民及び事業者への説明手段として活用できないか。

【活用方法】

- ・大規模盛土造成地やその他ハザードエリアを可視化
→市民の防災意識の向上を図る
- ・低未利用地や空き家、空き店舗等のデータを可視化
→まちなかの活性化を図るためにの資料としての活用

i-都市交流会議2022

7

宮崎県宮崎市

都市の紹介

成長可能都市ランキング

成長する潜在的な可能性がある都市として、**第8位**にランキング

順位	都市名
1	福岡県福岡市
2	鹿児島県鹿児島市
3	茨城県つくば市
4	愛媛県松山市
5	福岡県久留米市
6	長野県松本市
7	北海道札幌市
8	宮崎県宮崎市
9	沖縄県那覇市
10	熊本県熊本市



	第1位	第2位	第3位
総合ランキング (実績及び将来のポテンシャルを含めた総合的な産業創発力)	東京	福岡市	京都市
ポテンシャルランキング (実績とポテンシャルの差分で見た“伸びしろ”)	福岡市	鹿児島市	つくば市
多様性を受け入れる風土	東京	札幌市	佐世保市
創業・イノベーションを促す取組	東京	大阪市	福岡市
多様な産業が根付く基盤	東京	大阪市	豊田市
人材の充実・多様性	東京	京都市	千葉市
都市の暮らしやすさ	佐賀市	奈良市	富山市
都市の魅力	福岡市	鹿児島市	京都市
移住者にやさしく、適度に自然がある環境で仕事ができる	鹿児島市	松本市	宮崎市 (circled in red)
リタイア世代が余生を楽しみながら仕事ができる	鹿児島市	福岡市	松本市
子育てしながら働ける環境がある	松本市	前橋市	佐賀市
起業スピリッツがあり、スマールビジネスにも適している	東京	つくば市	福岡市

出典:ランキングによる都市の持つ「成長可能性」の可視化
～地方創生の成功の鍵はどこにあるのか～
(野村総合研究所)

i-都市交流会議2022

8